

利用の手引き ワイヤレスマイクロホンパッケージ SONY UWP-D11

ワイヤレスマイクロホンを利用することで、ビデオ録画の際に明瞭な音声を記録することができます。話し手からカメラの位置が遠い場合や、会場の音響状況が優れない場合、話し手の音量が小さい場合や、会場の雑音等が大きい場合などには、特に有効です。

チューナー



アンテナ 2 本

1. 電源ボタン（上の図の赤枠）を押して電源を ON にします。
2. カメラのマイク入力に OUTPUT 端子を接続します。SONY FDR-AX40 では、以下の赤い端子です。



3. ヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続することで、音声をモニター（確認）できます。

※カメラに接続後、チューナーを電源 OFF の状態で録画すると、無音になるので注意が必要です。

トランスミッター（マイク）



アンテナ 1 本

4. 電源ボタン（上の図の赤枠）を押して電源を ON にします。
5. 話し手の胸元にピンマイクを取り付けてもらいます。トランスミッター本体は、ポケット等に入れておいても構いません。

※カメラに接続後、トランスミッターの電源 OFF の状態で録画すると、無音になるので注意が必要です。



チューナーとトランスミッターは、それぞれ単 3 乾電池を 2 本ずつ使用します。
 ※電池ホルダーに乾電池を入れる際には、⊕と⊖の向きに注意してください。
 ※充電式の乾電池の場合、満充電でもディスプレイ部の電池残量表示が 2/3 メモリになることがあります。

Power（電源）インジケータランプ

インジケータの表示	状態
点灯（緑）	電池残量が十分
点滅（緑）	電池がほとんど消耗
消灯	電源 OFF



※ 会場がマイクロフォンを使用している場合には、ピンマイクから会場の音声をある程度拾うことができます。狭い会場の場合は、マイクロフォン無しでもピンマイクから会場の音声をある程度拾うことができます。

※ 会場全体の音声を録音する場合には、チューナーをカメラから外して、カメラ本体のマイクから録音するようにします。

※ チューナーの前面にある面ファスナーを開けて、三脚の脚部や柱などに取り付けることが可能です（カバー付きの場合のみ）。

